

農山漁村地域整備計画

計画の名称

東京都の農業生産基盤整備計画その3

計画策定主体

東京都

対象市町村

日の出町、大島町、新島村、神津島村、三宅村

計画の期間

平成29年度～令和2年度(4年間)

計画の目標

東京農業は、都市化の進展に伴う生産環境の悪化などの問題に直面しながらも、大消費地を抱えたメリットを活かし、消費者ニーズに応えた多様な農畜産物を供給している。また、農業生産活動を通じて、都市の貴重な緑地や水辺空間の確保、環境学習の場の提供など様々な役割を果たしている。

島嶼地域においては、離島という流通上のハンデを抱え、農家の高齢化や後継者不足等の課題に直面しながら、温暖な気候などの自然環境を活かして農業生産を行うとともに、観光資源の機能も併せ持つなど、地域の重要な産業としての役割を果たしている。

このような状況の下、生産者や都民、消費者のニーズを反映した生産基盤整備の計画を策定し、地域資源としての農地、農業用水等の機能と魅力を発揮させることで、東京農業の持続的発展を目指していく。

定量的指標

- ①施設計画策定事業により、今後の整備に向けて魚道の概略設計を行う。
- ②機能保全計画策定事業により、今後の整備に向けた機能保全計画を策定する。
- ③暗渠排水A=3.7haと排水路L=0.9kmの整備を行うことで、農用地の排水不良を解消する。
- ④農作業道に待避所3箇所の設置を行い、農家の交通の利便性を改善する。

対象事業

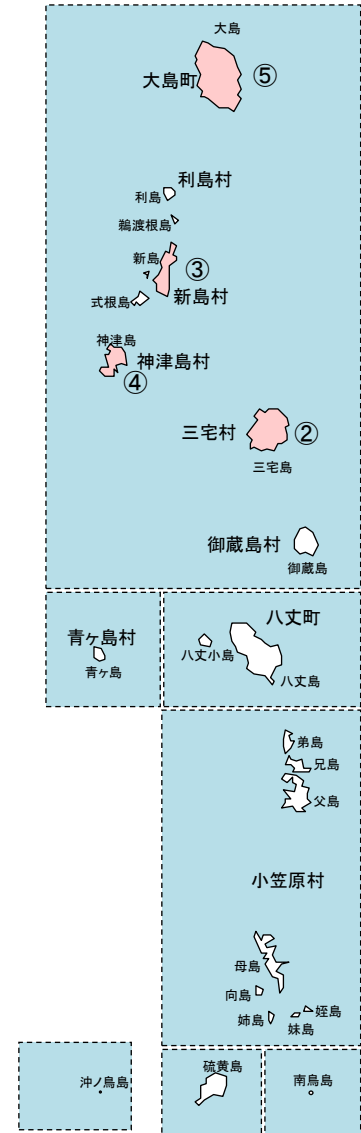
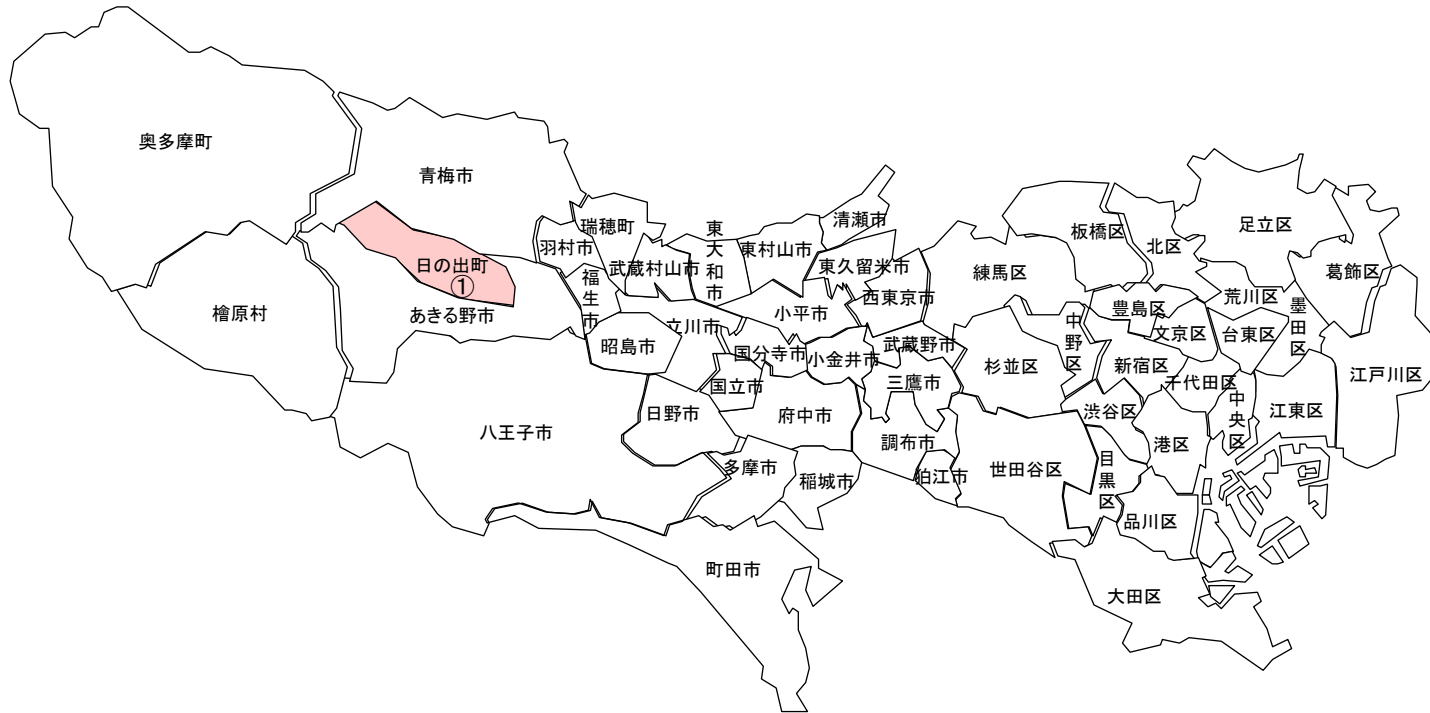
別紙のとおり

農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
水利施設整備	農業水利施設保全合理化事業 (水利用再編促進事業)	於奈測	東京都	日の出町	施設計画策定 (魚道基本設計)	H29	5,000	- 調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	
水利施設整備	農業水利施設保全合理化事業 (水利用再編促進事業)	八重間	三宅村	三宅村	機能保全計画策定	H29	6,600	- 調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	
農地整備	農業基盤整備促進事業(定率)	久田巻	新島村	新島村	暗渠排水・ 農業用排水施設 (A=3.7ha L=0.9km)	H29 ~ R2	142,321	- 土地改良法に基づかない事業実施のため未記入	
農地整備	農業基盤整備促進事業(定率)	焼山	神津島村	神津島村	農作業道 (待避所設置3箇所)	H29 ~ R1	34,000	- 土地改良法に基づかない事業実施のため未記入	
水利施設整備	農業水利施設保全合理化事業 (水利用再編促進事業)	大滝	大島町	大島町	機能保全計画策定	H30	8,000	- 調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	
合計 (全体事業費)							195,921		

農山漁村地域整備交付金対象地区位置図 〔東京都の農業生産基盤整備計画その3：平成29年度～令和2年度〕

番号	事業名	地区名	市町村名
①	水利施設整備	於奈淵	日の出町
②	水利施設整備	八重間	三宅村
③	農業整備	久田巻	新島村
④	農業整備	焼山	神津島村
⑤	水利施設整備	大滝	大島町



農山漁村地域整備計画事前評価結果書

計画の概要	計画の名称	東京都の農業生産基盤整備計画その3
	計画策定主体	東京都
	対象市町村	日の出町、大島町、新島村、神津島村、三宅村
	計画期間	平成29年度～令和2年度(4年間)
	計画の目標	<p>東京農業は、都市化の進展に伴う生産環境の悪化などの問題に直面しながらも、大消費地を抱えたメリットを活かし、消費者ニーズに応えた多様な農畜産物を供給している。また、農業生産活動を通じて、都市の貴重な緑地や水辺空間の確保、環境学習の場の提供など様々な役割を果たしている。</p> <p>島嶼地域においては、離島という流通上のハンデを抱え、農家の高齢化や後継者不足等の課題に直面しながら、温暖な気候などの自然環境を活かして農業生産を行うとともに、観光資源の機能も併せ持つなど、地域の重要な産業としての役割を果たしている。</p> <p>このような状況の下、生産者や都民、消費者のニーズを反映した生産基盤整備の計画を策定し、地域資源としての農地、農業用水等の機能と魅力を発揮させることで、東京農業の持続的発展を目指していく。</p>
	定量的指標	<p>①施設計画策定事業により、今後の整備に向けて魚道の概略設計を行う。 ②機能保全計画策定事業により、今後の整備に向けた機能保全計画を策定する。 ③暗渠排水A=3.7haと排水路L=0.9kmの整備を行うことで、農用地の排水不良を解消する。 ④農作業道に待避所3箇所の設置を行い、農家の交通の利便性を改善する。</p>
	対象事業	水利施設整備 農地整備
全体事業費	195,921千円	

	項目	評価細目	評価	評価内容
評価	(1) 目標の妥当性	①関連計画等との整合性は図られているか	○	東京都農業生産基盤整備長期計画との整合が図られている。
		②地域課題への対応が図られているか	○	地域の課題となっている農作業道の老朽化による機能低下の改善と、河川の遡上機能の回復を目標としている。
	(2) 整備計画の効果・効率性	①整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	機能保全対策で構成され、目標達成に向けた指標設定となっている。
		②事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業完了時に農地の維持・保全状況等定量的な補足が可能である。
		③対象事業は目標を達成するために効果的であるか	○	各事業の実施により発現する効果が指標となっている。
	(3) 整備計画の実現可能性	①円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業を実施する上で、十分な環境が整備されている。
		②地元の機運が醸成されているか	○	施設管理者からの要望によるもので地元の機運は醸成されている。
評価結果	<p>評価1 計画の妥当性が高い [評価基準] 評価1：全項目「○」の場合</p> <p>評価2 計画の見直しが必要 評価2：1項目でも「×」の場合</p>			

評価委員会の意見	東京都の農業生産基盤整備計画その3は、上記のとおり農山漁村地域整備交付金実施要領第5の1号に定める条件を満たしているため、計画どおりの着手が適当である。
----------	--